

西の原小学校区における施設教室数不足の対応案について

1 今後の開発戸数の見込み

	R5	R6	R7	R8	R9	合計
西の原小学校	103	100	100	100	100	503

2 推計結果（速報値）

※推計結果は速報値のため、今後、多少数値が変わる場合がある。

＜西の原小学校＞ 保有普通教室数：25教室（24教室＋1教室（小スペース））

	R4 (現況)	R5	R6	R7	R8	R9 (ピーク)	R10	R11	R12	R13	R14
児童数	627	662	725	771	806	829	822	787	759	730	703
通常学級数	19	21	23	25	25	26	26	25	24	24	23
特別支援 学級数	6	6	6	6	7	7	7	7	6	6	6
学級数合計	25	27	29	31	32	33	33	32	30	30	29
過不足 普通教室数		△2	△4	△6	△7	△8	△8	△7	△5	△5	△4

3 今後の対応案

西の原小学校については、令和5年度から施設教室数が不足するおそれがありますが、令和5年度については、特別支援学級の教室を工夫することにより、対応が可能であると考えています。

しかしながら、令和6年度から施設教室数が不足するおそれがあるため、早急に隣接する高花小学校（進学先は船穂中学校）と連携した通学区域制度の弾力的な運用を実施し、児童数増加の緩和の対応を行いながら、児童数の推計を注視し、学校施設の増改築の必要性を検討していきたいと考えています。

4 西の原小学校区における隣接する高花小学校と連携した通学区域制度の弾力的な運用（案）

(1) 対象地区

西の原小学校区の全部の区域

(2) 対象地区の指定校

西の原小学校（進学先は西の原中学校）

(3) 学区外就学の対象校

高花小学校（進学先は船穂中学校）

(4) 運用開始日

令和5年4月1日から